IV. 埋蔵文化財展・埋蔵文化財講演会の記録

平成17年度　埋蔵文化財展・埋蔵文化財講演会について

1　目的

埋蔵文化財に対する理解を深め、郷土に残された先人の歴史を考え、文化財保護意識の向上を図ることを目的に開催する。本展示会では愛知県内の発掘調査成果を基に、平易な歴史展示を実施する。

2　主催

安城市歴史博物館
安城市埋蔵文化財センター
安城市教育委員会
(財)愛知県教育・スポーツ振興財団　愛知県埋蔵文化財センター
愛知県教育委員会

3　埋蔵文化財展

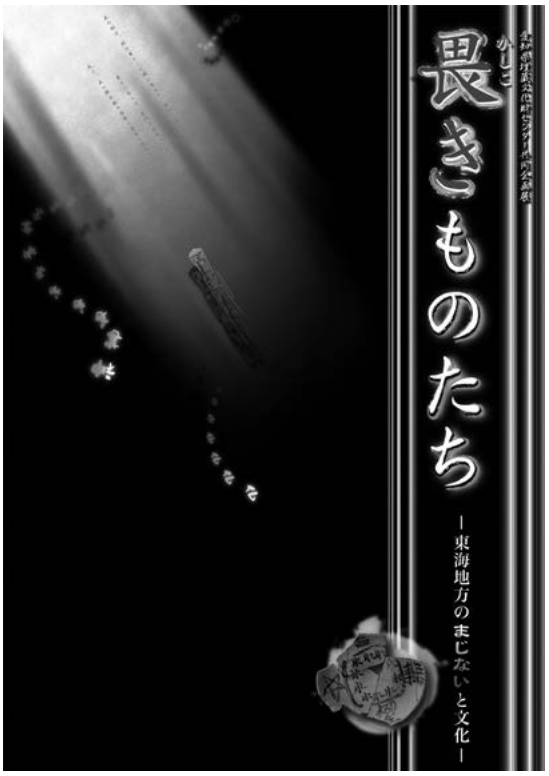
1) 会場：安城市歴史博物館
　　安城市安城町城堀30(0566-77-6655)
2) 日時：平成17年12月17日(土)
　　～平成18年２月19日(日)
　　午前９時～午後５時　月曜休館
3) タイトル：「畏(かしこ)きものたち
　　―東海地方のまじないと文化―」

4　埋蔵文化財講演会(参加自由)

1) 会場：安城市歴史博物館
2) 日時：平成18年１月15日(日)
3) 講師：水野正好　奈良大学元学長
4) 演題：「まじないと日本文化」

5　企画展合同講演会１・２

1) 会場：安城市歴史博物館
2) 日時：平成18年２月４日・２月11日
3) 講師：安城市歴史博物館学芸員
　　安城市埋蔵文化財センター職員
　　愛知県埋蔵文化財センター職員
4) タイトル：「まじない・うらない・たたり」
　　「安城市域における近年の発掘調査から」



ポスター


清洲城下町遺跡出土　墨書・刻書土器


岩倉城遺跡出土　木製品

問わず語り

吾は御川の碧海の湿原と原野に遠い昔から暮らしてきた。いつしか人間は吾のことをカミと呼ぶようになった。
話して聞かせよう。いにしえの吾と人間たちの交わりを……

テーマ１　プロローグ
人間は吾を祀る代わりに、吾の湿原を田と変え米を糧とすることを望んだ。吾は許した。人間のムラは精霊に護られ、次第に大きくなった。

テーマ２　神祇信仰
新しいカミも西からやってきた。そのカミは木を削った形代を使った祀りを特に好んだ。
吾も新しいカミとよく似た方法で祀られたこともある。それはそれで心地よい。

テーマ３　ホトケの世界
ある時、人間が仲間を募って湿原を見下ろす原野にテラという建物を造った。大きな建物だった。遠い異国から来たホトケを祀るためである。
吾は許し、ホトケを受け入れた。

テーマ４　開発と祭祀
その頃から、吾の世界を人間が分けて欲しいと申し出ることが続いた。各地のカミも同じような状況らしい。人間たちと闘ったカミもいた。吾は篤く祀られたので、祟りはしない。許そう。

テーマ５　祭祀の多様化
人間の望みは、戦争に勝たせてくれとか、病気を治してくれとか、様々だ。その度に様々な祈りの作法や器具を創作してきた。
ホトケにも似たような祈りが捧げられているらしい。

テーマ６　墓制と周辺
人間の命には限りがある。
ホトケは特に人間の葬送儀礼に強く関わった。
ホトケは人間の霊魂を導いた。

話はこれでおしまいだ。人間たちよ。どこかで吾の姿を偶然見てしまったら、その場を速やかに立ち去れ。
祟りを恐れるなら、決して振り返るでない。





上橋下遺跡　水辺の祭祀遺構



本川遺跡　ミニチュア土器を含む一括資料



勝川遺跡出土
人形

儀長正楽寺遺跡出土
浄瓶

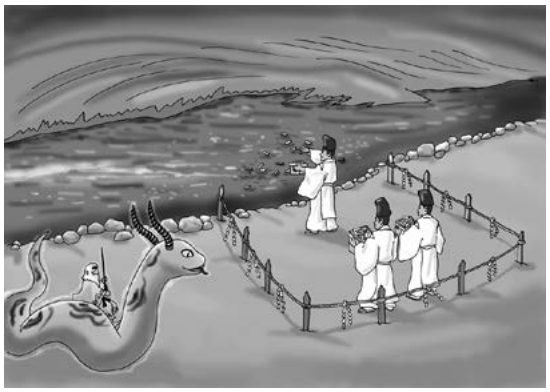
6　事業の内容について

埋蔵文化財展

1)「畏きものたち―東海地方のまじないと文化―」

―碧海郡の原生林と湿原で活動した国津神が、ふと問わず語りする―。

人々の営みと「畏きものたち」との交感の歴史を考古資料とイラストを用いて展示・解説する。



テーマ２　イラスト

2) 平成17年度　新出土品展

整理・報告が終了した鴈窯跡・水入遺跡の資料をはじめ、平成16年度調査成果について、出土資料と作業風景など写真やパネルなどを用いて展示・紹介する。

展示遺跡：高木遺跡、御山寺遺跡、朝日遺跡、桜鐘古窯群、蛇廻間古窯跡、夏敷古窯跡、惣作遺跡、桑下城跡、三ヶ所遺跡、高坂遺跡



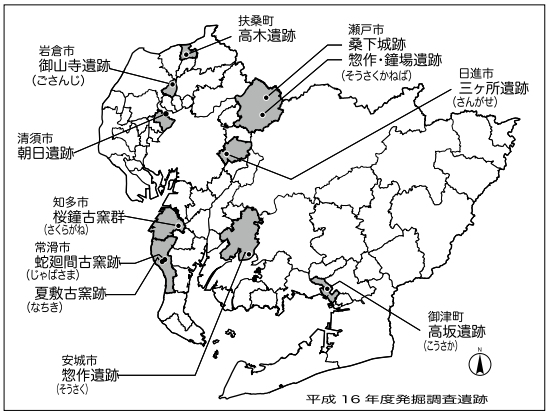
新出土品展

埋蔵文化財講演会

水野正好氏（奈良大学元学長）による「まじないと日本文化」と題する講演を開催した。講演は、生活の隅々の事柄に関った「まじない」の歴史を具体的な資料で振り返るもので、今日にも明らかに、あるいは秘かに息づく習俗が日本文化のある一面を形成してきたことについて分かり易く解説された。会場は活況を呈し、参加者は約240名となった。



埋蔵文化財講演会資料



展示遺跡位置図

企画展合同講演会

２月４日は「まじない・うらない・たたり」と題し、主に企画展展示内容に沿って３つの講演が行われた。

・「開発と宗教」斉藤弘之（安城市歴史博物館）
・「占い–未来や不可知を認知すること」
　池本正明（愛知県埋蔵文化財センター）
・「中世の墓制」
　武部真木（愛知県埋蔵文化財センター）

２月11日は「安城市域における近年の発掘調査から」と題し、発掘調査の成果に沿って３つの講演が行われた。

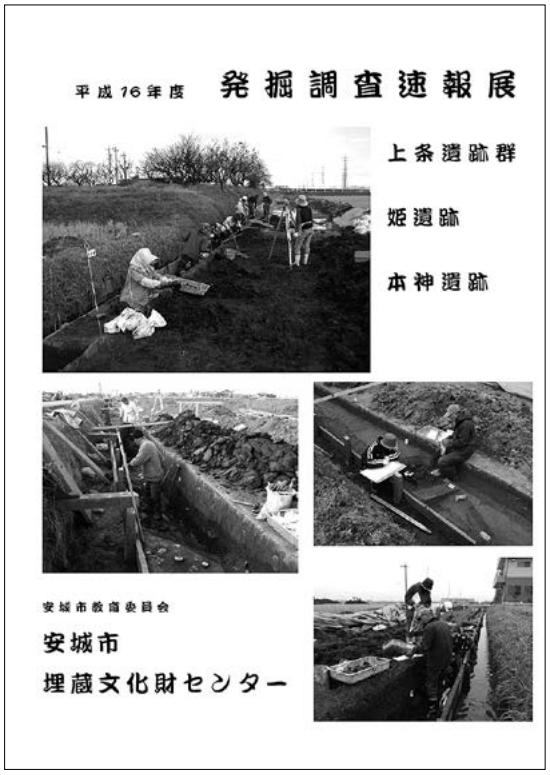
・「安城市内の発掘調査速報–上条遺跡群ほか」
　李　浩基（安城市埋蔵文化財センター）
・「下懸木簡について」
　池本正明（愛知県埋蔵文化財センター）
・「鹿乗川流域遺跡群について」
　松田　訓（愛知県埋蔵文化財センター）

いずれも会場がいっぱいになる盛況ぶりでした。





埋蔵文化財講演会



「安城市内の発掘調査速報」資料





企画展合同講演会